

エコアクション21

第63期 環境経営レポート

(活動期間 2024年9月~2025年8月)



発行日：2025年11月25日

改訂日：2025年12月18日

有限会社 三宅鉄工所

目次（全 12 ページ）

I. 事業活動の概要	3
1. 事業者名及び代表者	3
2. 事業所所在地（認証範囲）	3
3. 環境管理の責任者及び連絡先	3
4. 事業の内容（認証範囲）	3
5. 事業の規模	3
6. 環境負荷の現状（第 61 期～第 63 期）	4
II. 環境経営方針	5
1. 経営理念	5
2. 品質方針	5
3. 環境経営方針	5
III. エコアクション21 推進組織図	6
IV. 環境経営目標及びその実績	7
1. 第 63 期の実績	7
V. 第 63 期の主な環境活動計画と考察	8
1. 二酸化炭素排出量の削減	8
2. 廃棄物排出量の削減	8
3. 水使用量の削減	8
4. 化学物質使用量の削減	9
5. 持続可能な環境活動の推進	9
考察	9
VI. 次期（第 64 期）環境経営目標及び計画	10
VII. 環境経営活動の中期目標	11
VIII. 環境関連法規の違反・訴訟等の有無	11
IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示記録	12

I. 事業活動の概要

1. 事業者名及び代表者

有限会社 三宅鉄工所
代表取締役社長 前川 昭彦

2. 事業所所在地（認証範囲）

本社・本社工場 〒670-0971 兵庫県姫路市西延末 142-1
本社南工場 〒670-0971 兵庫県姫路市西延末 72-1
姫路東工場 〒670-0823 兵庫県姫路市宮上町 1 丁目 169

3. 環境管理の責任者及び連絡先

環境管理責任者 川上 一博
電話番号 079 (298) 7770
FAX 番号 079 (292) 0062
E-mail miyake@eos.ocn.ne.jp

4. 事業の内容（認証範囲）

機械部品製造

5. 事業の規模

項 目	第61期	第62期	第63期
	(2022年9月～2023年8月)	(2023年9月～2024年8月)	(2024年9月～2025年8月)
製品納品個数 (個)	522,891 (生産量1,985 t)	420,188 (1,584 t)	403,616 (1,599 t)
売上高 (百万円)	519.5	358.7	393.2
通期平均従業員 (人)	41.5	40.3	36.9
延べ床面積 (m ²)	2,209	2,209	2,209

6. 環境負荷の現状（第61期～第63期）

原単位当りの環境負荷	第61期 (2022年9月～2023年8月)	第62期 (2023年9月～2024年8月)	第63期 (2024年9月～2025年8月)
① 二酸化炭素総排出量 (kg - CO ₂ /個)	0.362 (189,462 kg - CO ₂)	0.396 (166,373 kg - CO ₂)	0.351 (141,800kg - CO ₂)
② 廃棄物排出量 (t/個)×1,000)	0.380 (198.8 t)	0.325 (136.7 t)	0.367 (148.3 t)
③ 水使用量 (m ³ /(人×10))	1.039 (431.1 m ³)	1.052 (423.9 m ³)	0.991 (365.7 m ³)

注記) 原単位：①及び② 排出量／製品納品個数

③使用量／通期の平均従業員（今期より採用し、前期・前々期に遡及しました。）

※原単位の下の（）内は、実排出量を示す。

二酸化炭素排出量 内訳	第61期		第62期		第63期	
	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
電力(kWh)	364,420	168,362.04	313,241	144,717.34	274,129	126,647.60
ガソリン(ℓ)	909.97	2,083.83	761.20	1,743.15	618.57	1,416.53
軽油(ℓ)	1,556.00	4,076.72	1,353.06	3,545.02	1,188.00	3,112.56
灯油(ℓ)	5,765	14,412.50	6,311	15,777.50	4,066	10,165.00
LPG(kg)	176.10	526.53	182.16	544.66	153.39	458.63
化学物質(kg)	2.87		3.82		0.00	
計		189,461.62		166,327.67		141,800.31

CO₂排出係数（環境省：「温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度」に準ずる）

電力CO ₂ 排出係数	0.462kg-CO ₂ /kWh(注1)
ガソリン	2.29kg-CO ₂ /ℓ
軽油	2.62kg-CO ₂ /ℓ
灯油	2.50kg-CO ₂ /ℓ
LPG	2.99kg-CO ₂ /ℓ

注記) 電力のCO₂排出係数(調整後)は、「電気事業者別排出係数一覧表 令和7年提出用-R5 年度実績- (リコージャパン(株)(メニューF))」より 係数は第61期～第63期に採用。

Ⅱ.環境経営方針

【経営理念】

1. 全社員一丸となって、高品質の製品を作り出す。
2. 工夫と改善で、常に強い価格競争力を持つ。
3. 多品種少量化・短納期に対応出来る企業づくり。
4. 利益の追求のみならず、企業として社会に貢献する。

【品質方針】

私たちは、製品及びサービスを通じて顧客に価値を提供することで、持続的成功を目指すために、以下の品質方針を掲げる。

1. 当社の品質マネジメントシステムに関する、品質方針及び品質目標を確立し、それらが当社の目的及び状況に対して適切であり、組織の戦略的な方向性の活動を支援する。
2. 当社の品質目標は、定期的実施するマネジメントレビューで設定し、レビューする。
3. 当社の製品及びサービスを通じて適用される、すべての要求事項を満たす。
4. 品質目標の達成度を定期的に評価し、分析し、必要な処置をとることにより、品質マネジメントシステムの継続的改善を実施する。

【環境経営方針】

私たちは、経営理念と経営における課題とチャンスとを踏まえ、適用される環境関連法規等を遵守し、環境経営の継続的改善のためにエコアクション21及びSDGsに取組み、下記の重要課題を関係者に周知徹底し取り組みます。

1. 製品生産量当たりの環境負荷量の低減

- ① 二酸化炭素の排出量
- ② 廃棄物の排出量
- ③ 水の使用量
- ④ 化学物質の使用量

2. 持続可能な環境改善活動の推進

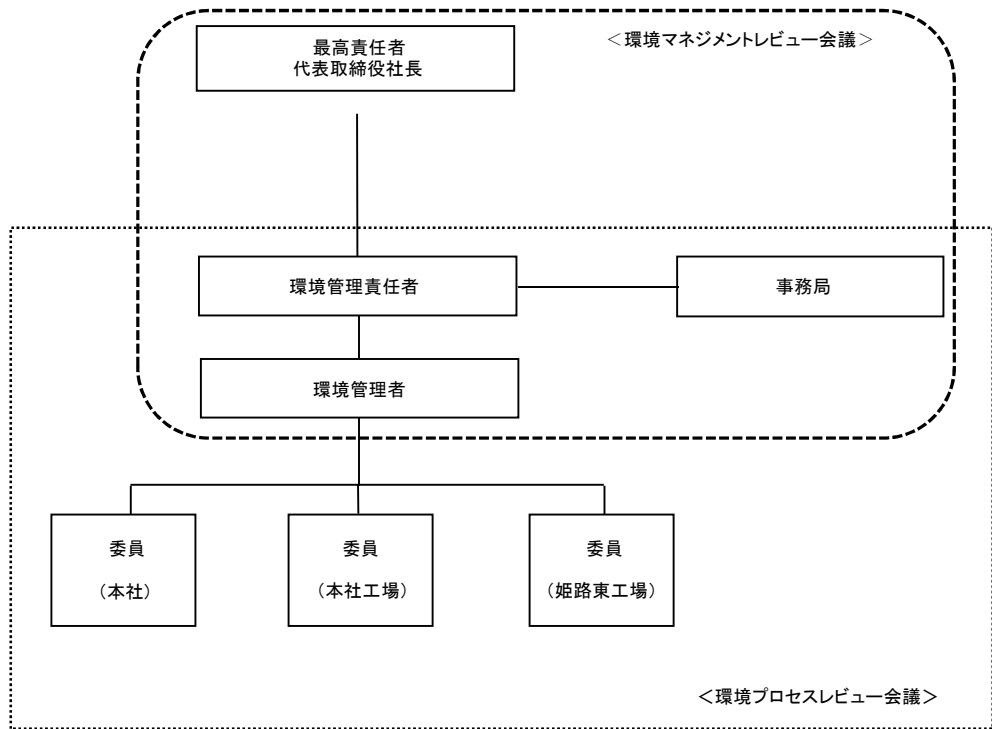


制定：2021年 9月 1日

改定：2024年 12月 4日

有限会社 三宅鉄工所
代表取締役社長 前川 昭彦

Ⅲ. エコアクション21 推進組織図



最高責任者	<p>代表取締役社長</p> <p>① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。</p> <p>② エコアクション 21 の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・設備等)を準備する。</p> <p>③ 経営における課題とチャンスの明確化。</p> <p>④ 環境経営方針を制定する。</p> <p>⑤ エコアクション 21 の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じて改定を指示する。</p> <p>⑥ 環境経営レポートの承認をする。</p>
環境管理責任者	<p>① エコアクション 21 に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成する為に環境委員会を運営する。</p> <p>② エコアクション 21 見直しの為の情報を最高責任者に提供する。</p> <p>③ 環境経営レポートを確認する。</p>
環境管理者	<p>① エコアクション 21 の構築と運用を円滑に行う。</p> <p>② エコアクション 21 に関する実務全般運営を行う。</p>
事務局	<p>① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション 21 に関する実務全般を所轄する。</p> <p>② 環境経営レポートを作成するためのデータ収集及び記録をする。</p> <p>③ 環境経営レポートを作成する。</p>
委員	<p>環境経営計画に基づき環境経営活動の実施、担当職場の活動をサポートする。</p> <p>節電・節水・廃棄物 削減の基本活動の推進</p> <p>CO2 削減、化学物質の管理</p>
環境マネジメントレビュー会議	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・委員で構成し、年 1 回環境管理責任者が招集する。</p> <p>環境経営全体の取組状況及びその効果の評価</p> <p>環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を含む総合的な見直し及び指示</p> <p>又、環境管理責任者が必要と認めた者は出席することが出来る。</p>
環境プロセスレビュー会議	<p>環境管理責任者、環境管理者、事務局、委員で構成し、年 4 回環境管理責任者が招集する。</p> <p>環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況の確認。</p> <p>環境関連法規などの遵守状況の確認。</p> <p>重要度の高い環境負荷の状況及び取組の実施状況。</p> <p>又、環境管理責任者が必要と認めた者は出席することが出来る。</p>

IV. 環境経営目標及びその実績

第63期（運用期間 2024年9月～2025年8月）の実績

項目	第63期目標 (62期実績 ×99.5%)	第63期実績	目標との増減値 (達成率% =目標/実績)	結果 目標達成:○ 目標未達成:× (100%未満 の時○)
製品納品個数(個)	420,188	403,616		
二酸化炭素排出量 上段:原単位(kg/個) 下段:(実数 kg-CO ₂)	0.394 (165,496)	0.351 (141,800)	△0.043 (112.3%) △23,696 (116.7%)	○ 原単位・実数 共に達成
廃棄物排出量 (①一般+②産業) 上段:原単位(kg/個) 下段:(実数 kg)	0.323 (135,989)	0.367 (148,256)	0.044 (88.0%) 12,267 (91.7%)	× 原単位・実数 共に未達成
①一般廃棄物排出量 上段:原単位(kg/個) 下段:(実数 kg)	0.008 (3,523)	0.006 (2,600)	△0.002 (133.3%) △923 (135.5%)	○ 原単位・実数 共に達成
②産業廃棄物排出量 上段:原単位(kg/個) 下段:(実数 kg)	0.315 (132,466)	0.361 (145,656)	0.046 (87.2%) 13,190 (90.9%)	× 原単位・実数 共に未達成
水使用量 上段:原単位(m ³ /(人×10)) 下段:(実数 m ³)	1.047 (421.8)	0.991 (365.7)	△0.056 (105.7%) △56.1 (115.3%)	○ 原単位・実数 共に達成
化学物質の適正管理 (化学物質使用量実数 kg)	適正管理 (3.80)	適正管理 (0)	適正管理 実数 3.80 (-)	○ 取組・実数 共に達成
ペーパーレス化 (コピー用紙購入枚数) 上段:原単位(枚/個) 下段:(実数 枚…A4換算)	0.400 (134,076)	0.276 (111,200)	△0.124 (144.9%) △22,876 (120.6%)	○ 原単位・実数 共に達成

目標値は原単位を正の目標とし、参考として実数を()書で表示する。

目標値は、62期実績値の0.5%減

注記) 原単位:二酸化炭素排出量及び廃棄物排出量 排出量/製品納品個数
水使用量 使用量/通期の平均従業員

V. 第63期 の主な環境活動計画と考察

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動テーマ	活動内容	達成状況	評価及び来期に向けた取組等	
電力使用量の削減	コンプレッサー定期点検、日常点検	◎	定期点検の予定なしにより、日常点検を継続実施	
	非稼働機械の節電	◎	長時間作業していない機械設備は、主電源を切るように徹底している。継続監視	
	機械制御盤フィルターの毎月清掃	◎	フィルター不定期交換、継続実施	
	照明の省電力機器への更新	△	工場水銀灯から順次LEDに移行。	
	休み時間の消灯	○	概ね消灯しているが、特に事務所が徹底されていない。継続監視	
	エアコン冷房下限温度 27℃	○	継続監視する。	
	エアコン暖房上限温度 20℃	×	基本冬期は灯油を使用。事務所が灯油からエアコン暖房に移行。今後も継続監視	
	エアコンのフィルター清掃	△	定期的に行うできていない。継続実施	
化石燃料使用量の削減	灯油	冬季は、ストーブを優先使用	○	優先的に使用している。事務所はIPJ
		ストーブの確実な消火確認	○	継続監視
	LPG	LPG の火元確認の徹底(本社工場)	◎	継続実施
		LPG の火元確認の徹底(姫路東工場)	◎	継続実施
	ガソリン	ガソリン車両の燃料管理	○	エコ運転の意識づけ及び効率的経路走行
	軽油	軽油車両の燃料管理	◎	自社運転時にはエコ運転を意識及び効率的経路走行 運送は庸車に移行のため、ほぼフォークリフトが中心。継続実施
アイドリングストップの徹底		◎	エコ運転の意識づけ。継続実施	

2. 廃棄物排出量の削減

活動テーマ	活動内容	達成状況	評価及び来期に向けた取組等
廃棄物排出量の削減	素材形状材質変更検討	▲	実行できていない。今後も継続検討
	削り代見直しによる切粉の削減	○	上項及び工程見直しにより切粉の削減の意識づけが浸透。継続実施
	工具機械の保守点検及び日常点検	◎	継続実行できている。継続する。
不適合による廃棄品の削減	切粉清掃を徹底し、切粉による不良品発生量の削減	○	生産量減少により、清掃に回せる時間増。不適合品の発生減。継続実施
	不適合品の特別採用(転用)が可能か検討	▲	検討ができていない。検討困難時、所属長に相談すること。今後も継続する。

3. 水使用量の削減

活動テーマ	活動内容	達成状況	評価及び来期に向けた取組等
水道水の使用量の削減	節水ポスター掲示	○	現状、洗面関係に大部分使用のため、大幅な削減が見込めないことがある。
	水漏れの確認	◎	使用量による異常値のチェック。継続実施

4. 化学物質使用量の削減

活動テーマ	活動内容	達成状況	評価及び来期に向けた取組等
化学物質の管理台帳により使用量の把握	日常点検による油脂の適正交換の実施	◎	機械設備の日常点検により実施及び確認している。継続監視 塗装業務廃止により化学物質含有の塗料購入が無くなった。
	油漏れの確認	◎	
	化学物質の安全データシート(SDS)最新版管理	◎	PDF化しサーバー保存している。更新があれば都度更新している。

5. 持続可能な環境改善活動の推進

活動テーマ	活動内容	達成状況	評価及び来期に向けた取組等
ペーパーレス化	紙の廃棄量を抑え、SDGs とカーボンニュートラルに貢献	◎	コピー用紙の購入量を継続監視する。

達成状況のレベル：◎…優 ○…良 △…可 ▲…一部可 ×…不可

考察

- 第63期は、前期から続く円安や米国金利高の影響で生産量が減少したものの、今期前半で回復し、売上高は前期比 9.7%増となった。一方、生産納品個数は前期比 3.9%減の 403,616 個にとどまったが、単価の高い製品の受注増と単価見直しにより、生産量は 1.0%増加した。
- 環境経営活動では、売上高・生産量とも増加したが、今期前半の受注減により 9 月から 3 月までに延べ 26 日の臨時休業を実施。結果として、二酸化炭素排出量 (CO₂) は前期比 14.8%減、水使用量は 13.7%減となった。一方、廃棄物排出量はスクラップ整理により 8.5%増であった。
原単位においては、CO₂ 11.4%減、水 5.8%減、廃棄物 12.9%増であり、減少は休業による稼働日数減の影響と考えられる。水使用量に関して、洗面での使用量が多くを占めるため、使用する者の人数による影響が大と考え、今期から原単位は毎月末の平均人員で除することに変更した。
- 化学物質使用量は、令和 4 年 6 月以降塗装業務が廃止されたため、今期もゼロであった。
- 次期以降は、新規顧客開拓による売上・生産量増を目指し、品質向上と環境負荷低減を推進。全社員で情報共有を徹底する。

次期（第 64 期）環境経営目標・計画

- SDGs 活動を促進し、「姫路市 SDGs 宣言」企業として社内外に発信を継続。
- 第 63 期の CO₂排出減は休業による影響が大きかったが、第 64 期は人員減による残業増で排出増が懸念される。原単位での削減を目指し、電力使用量の節減を徹底。なお、第 64 期中にグリーン電力へ切り替え予定である。
そして、第 64 期より、原単位を算出するための除数を納品個数から生産個数（各工作機械で加工した個数）に変更し、より生産状況に適合した指標にする。
- 管理部門との情報共有とペーパーレス化を推進し、紙排出量削減により SDGs 達成に貢献する。
- 安全を含む社内教育を継続し、従業員の意識向上を図る。
- エコアクション 21 認証企業として、環境負荷削減と意識改革に積極的に取り組む。

Ⅶ. 環境経営活動の中期目標

項目	第63期(実績) (2024.9.1~ 2025.8.31)	第64期 (2025.9.1~ 2026.8.31)	第65期 (2026.9.1~ 2027.8.31)	第66期 (2027.9.1~ 2028.8.31)
製品納品個数	403,616 個			
①二酸化炭素総排出量 原単位 (実数目標 kg・CO ₂)	0.351 (141,800)	0.349 (141,091)	0.347 (140,382)	0.346 (139,673)
②廃棄物排出量原単位 (実数目標 t)	0.367 (148.3 t)	0.365 (147.6)	0.363 (146.8)	0.361 (146.1)
③水使用量原単位 (実目標数 m ³)	0.991 (365.7 m ³)	0.986 (393.9)	0.981 (362.0)	0.976 (360.2)
④化学物質使用量の把握	適正管理	適正管理	同左	同左

(注記1) 中期目標値は、第63期実績を基準に64期は各①~③0.5%削減。65期は同じく1.0%削減。66期は同じく1.5%削減。

(注記2) 実数を目標とすると、製品生産個数の変動により影響が大きいと予測されるので、原単位を正の目標とし、実数目標を()書きする。

(注記3) 電力のCO₂排出係数は、各年度 リコージャパン(株)の係数を適用する。

原単位=排出量/製品生産個数(②は原単位×1,000)

(③水使用量: 原単位=使用量/期間中各月末の平均従業員/10)

Ⅷ. 環境関連法規の違反・訴訟等の有無

(環境関連法規規制等の遵守状況)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通り


遵守評価日: 2025年11月4日


環境関連法	規制対象	遵守すべき規制内容	遵守状況
騒音規制法	コンプレッサー	7.5 kW 以上の届出	遵守
振動規制法	コンプレッサー	7.5 kW 以上の届出	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物	産業廃棄物の運搬または処分を委託契約	遵守
		マニフェスト管理	遵守
		産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵守
消防法	廃油、灯油、機械油	消火器の設置等	遵守
		消防設備の点検	遵守
	危険物	危険物取扱所等の行政への届出及び保管基準の遵守	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコン	簡易点検・記録	遵守
	コンプレッサー	簡易点検・記録	遵守


- ① 環境関連法規への遵守状況をチェックした結果、過去3年間に違反はありません。また、関係機関からの指摘、訴訟等ありません。
- ② 環境に関し地域住民からの要求等はありません。
- ③ 環境法令リストを作成し、適用事項の内容の改廃を毎年フォローしている。

Ⅸ. 代表者による全体の評価と見直し・指示記録

開催日：2025年11月20日

環境管理責任者報告（川上一博）		
No.	項目	報告内容
1	環境経営目標の達成状況	前々期から続き前期の前半、売上高及び生産量減による延べ26日の休業を実施したことで、ほぼ環境経営目標達成できた。産業廃棄物排出量のみ増だった。
2	是正及び予防処置に関する情報	消火及び避難訓練未実施の改善事項の指摘を受けていました。63期中において実施できなかったが、64期明けの9/1に避難訓練9/20に水消火器による消火訓練を実施した。
3	法規制等に関する情報	環境関係法規の理解を深める。
4	その他、必要な情報	前期の後半から売上高が持ち直し、しばらくの間の受注増が期待されている。残業時間増は必至だが、環境経営目標達成を意識すること。

代表者の指示事項（前川昭彦）				
No.	項目	変更の必要性		指示内容
		あり	なし	
1	環境経営方針		✓	SDGs、カーボンニュートラルについて更に理解を深め、これらに沿った施策を設定すること。
2	環境経営目標及び環境経営計画		✓	64期は前期より売上増が見込まれる。原単位減はもちろんの事、実数削減にも取り組むこと。
3	実施体制		✓	従事員を63期首と64期首を比較すると6名減となった。各自が周りにも配慮すること。
4	その他		✓	新規顧客の開拓、受注量増大に取り組むこと。

エコアクション21活動に対する代表者の全体評価（前川昭彦）	
<p>今年度（第63期）における環境経営活動を振り返りますと、期前半は主要顧客の受注減に伴い、売上高および生産量が減少する厳しい状況が続きました。しかし、後半には回復基調となり、増加に転じることができました。加えて、前半に実施した26日間の休業は、二酸化炭素排出量（CO₂）の削減に寄与し、環境負荷低減の面で一定の成果を収めることができました。</p> <p>当社は、「エコアクション21」認証企業として、持続可能な社会の実現に向けた責任を果たすべく、環境経営目標である原単位削減を継続的に追求しております。来期（第64期）は、受注増が見込まれる一方で、人員不足による残業増が懸念される状況にあります。このような環境下においても、生産効率の向上と環境負荷低減の両立を図るため、以下の重点施策を推進いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グリーン電力の導入によるCO₂排出削減の加速 ・ 生産プロセスの改善によるムダ・ムリ・ムラの排除とコスト最適化 ・ 従業員教育の強化による環境意識のさらなる醸成 	